

今さら聞けない「家」選びの基本

どうせ手に入れるなら
「ちゃんとした家」を手に入れたい人は
他にいませんか？

福島的气候に特化した家をつくる福島の工務店 A.C.Regalie がお伝えします



目次

「ちゃんとした家」って何？	3
「ちゃんとした家」に住んでいる人とは？	4
なぜ？「ちゃんとした家」を知らずに家をつくれたのか.....	5
どうしたら「ちゃんとした家」を見分けることが出来るのか？	6
「ちゃんとした家」は高いのか？	7
シロアリ駆除は	8
30年保証に、	9
“本音”はこれです。	10
つまり、「ちゃんとした家」とは？	11
“健康で文化的な暮らし”を望む方へ.....	12
老後も安心して暮らせる？	13
「ちゃんとした家」の将来の価格(価値)	14
何を選択するかで「未来の生活が変わる」のなら何を選択しますか？	15
どれだけ支払うか？ではなくどこに支払うか？という問題	16
他メーカーからの推薦？	17
家づくり後、豊かな生活を望むには	18
A.C.Regalie は「ちゃんとした家」しか作りません	19
今だけのチャンスです	20



「ちゃんとした家」って何？

今の時代、光熱費の高騰が家計を圧迫しています。

その中で、「ちゃんとした家」とそうでない家では、なんと最大 60%以上もの電気効率の違いがあります。
この差は、日々の暮らしの快適さだけでなく、家計にも大きな差をもたらすのです。

それ以外に「ちゃんとした家」では不要ですが

そうでない家は、薬品(シロアリ駆除の薬剤)使用をします。
シロアリ駆除に使われる薬剤は、5 年で効果が切れるため、
35 年の住宅ローン期間中に**最大 7 回の再施工が必要**です。

もっと驚くべきは、

そうでない家の外壁塗装の費用です。
一般的な外壁は、新築から 10 年後に 1 回目の塗装が必要となり、
その後は 5 年ごとに塗装しないと劣化が進行します。

その他にも、「ちゃんとした家」とそうでない**家の違いは**

- ・エアコンの買い替え台数の差 ・光熱費の積み重ね ・ヒートショックのリスク
- ・通院回数による医療費の違い ・老後の生活費の負担 ・シロアリ駆除による健康被害
- ・将来の「家の資産価値」の違い…など

見えにくいリスクが山のようにあります。

35 年間の安心と豊かさの価値を考えたとき、「どんな家」がいいのでしょうか。
本書は、それらを詳しくご説明いたします。

「ちゃんとした家」に住んでいる人とは？

「疑ってましたよ。だって、想像できない家ですからね！」

2025 年、福島市では 35 年ぶりに猛暑日が続き、8 日間連続で 35℃を超えるという記録的な暑さに。

A.C.Regalie の家に入居した S さん。

S さんのご自宅は延床面積 37.58 坪、畳に換算すると約 75 畳分の広さです。

入居から半年が経った 2025 年 6 月のとある日、

住宅ローン減税のことで S さんから相談があり、税務署からの書類提出のやりとりの最中に、ふとこんな一言が送られてきました。



「14 畳のエアコンで家の中は快適です」

2 階建て(75 畳分)もの広さの家が、わずか 1 台の 14 畳用エアコンで快適というのです。

普通なら信じられない話かもしれませんが、S さんは実際にそれを体感している一人です。



そうだったんですね！

なんか不備があるとかでこれまで2回くらいBELSの書類送ってたんですけど、今回それじゃダメだと手紙に書かれたので、何でダメなの？って感じになってました🙄

本当にありがとうございます！毎日暑い中でも、14畳のエアコンで家の中は快適です😊

S 様からの Line

午後 6:37

この驚きの声は、S さんだけではありません。

2020 年にご入居された H さんも

同様の感想を送ってくださっています。



@中沢達浩

ご無沙汰しております。
毎日蒸し暑いですが、おかげさまで我が家はエアコン1台で快適な毎日を送っております。

H 様からの Line

さらに、2025 年にお引き渡しとなった I 様も、初めての夏を迎える中でこう語ってくださいました。

「家が快適すぎて、外に出たく、なくなるんです」

I 様の家も 35.59 坪（約 71 畳）ですが、エアコンは 14 畳用が 1 台だけ。



また、南矢野目の O 様は、ご入居から 1 年後、A.C.Regalie の YouTube チャンネル『快適夏 南矢野目 O 様』にて、その住み心地を語ってくださっています。

こうした多くの声に共通するのは、「入居して初めて分かった快適さ」という点です。

皆さん最初から“ちゃんとした家”を知っていたわけではありません。

暮らし始めてから「これがちゃんとした家なんだ」と気づく——そんな驚きと感動の声が、次々と届いています。

ご感想を頂いた皆さん、なぜ？「ちゃんとした家」を知らずに家をつくれたのか？

圧倒的に足りないものは…

「ちゃんとした家」を体験できる場所が少ないという事。

「ちゃんとした家」を体験できる場所が、圧倒的に足りない。これが福島の住宅業界の大きな問題です。

A.C.Regalie では、あえて住宅展示場を持っていません。なぜなら、その維持費や運営コストが、最終的にお客様の家の価格を押し上げてしまうからです。

広告費も最小限に抑え、営業社員もいません。

すべては、余計なコストをかけず、良質な家を適正価格で届けたいという思いからです。

そもそも、住宅展示場に行ったからといって、「ちゃんとした家」が見られるとは限りません。

聞こえてくるのは、必死に自社の商品を売り込もうとする営業トークばかり。

詳細を教えてくださいと質問をしても、納得できる答えが返ってこないという声もよく聞きます。

こんな経験はありませんか？

- 住宅展示場に行っても、営業マンの話ばかりで「本当に大切な家の本質」がよく分からない。
- 家の善し悪しを知りたくてネットで調べても、情報が多すぎて、素人には理解するのに時間がかかる。
- 実際に住んでからのリアルな暮らしについて知りたくても、誰に聞けばいいのかも分からないし、教えてもらえる場も少ない。

もし、あなたがこんな経験をされているのなら――

本日はご紹介する内容は、「ちゃんとした家」のほんの一部にすぎませんが、

それでもきっと、これからの家づくりに役立つヒントが詰まっています。

ぜひ、ご参考にしていただければと思います。

他県と比べても圧倒的に少ないちゃんとした家

地域	推奨される断熱等級（2022 年以降）	達成率（実際に建てられている割合）
長野県	等級 6（HEAT20 G2 レベル）	約 70%
山形県	等級 6（HEAT20 G2 レベル）	約 60%
福島県	等級 5 以下（G1 以下が主流）	約 20%以下 ※推定

出典-【国土交通省】資料名：「住宅の断熱性能等級の見直しについて」ほか【HEAT20・一般社団法人 20 年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会】【国立研究開発法人 建築研究所（IBEC）】



どうしたら「ちゃんとした家」を見分けることが出来るのか？

誰しも..家づくりは「知らない」から始まるもの。

でも、知らないままに進めてしまうと、後から取り返しのつかない失敗につながる。

失敗しない為の大切なポイントがいくつかあるのです。

失敗例——

- エアコンをつけても、なかなか部屋が冷えない
- 冬場、室内が驚くほど乾燥してしまう
- 家の材料によっては、定期的に薬品を撒かなければならない

こんな「住んでから気づく困りごと」が、実際に多くの家庭で起きています。

「どの家也大差はない」「価格だけの違いだろう」と思って建てた家が、後になって後悔の対象になることも少なくありません。

こうした失敗を防ぐためにも、今回は家づくりで押さえておきたい“本当に大切なポイント”を、わかりやすくお伝えします。



「ちゃんとした家」は高いのか？

スカスカの家と、しっかりと造られた家とでは、同じというわけにはいきません。

少し時間を掛けて考えれば「そうだ！」とわかる事なのですが…

時間の無いあなたへ、私があえて例を挙げてご説明します。

もし、100 万円を預けておいた貯金が、年々その価値を失っていくとしたら？

貯蓄元の 100 万円の価値を保つのに、毎年 10 万円ずつ追加で貯金しなければいけない…

そんな預金商品があったとしたら、あなただって、預けようとは思いませんよね。

しかし、驚くことに「家」は、これと同じことが起こるのです。

しかも多くの人が「それが当たり前」と思い込み、受け入れてしまっています。

「家は手に入れたあとも、お金がかかるもの」と頭では分かっている、

実際にどこにどれくらい費用がかかり、それが自分たちの暮らしにどんな影響を与えるのか——

そこまでリアルに想像できないまま家を建ててしまう人がほとんどです。

当然ですが、家は時間とともに劣化します。

そして、その劣化を補うためには、**入居後すぐに修繕が必要になるケース**もあります。

修繕には、お金が掛かります。

それは家を手に入れてからすぐ起こります。

例えば…▼

シロアリ駆除は

「新築の時だけ行えばいいと思っていた・・・」 Tさん

家を建ててから5年ほど経つと、多くの住宅で「シロアリ駆除の薬品散布」が必要になります。

ところが——「そんな話、聞いたことないし、みんなやってないんじゃないの？」

…そう思う方も多いかもしれません。

Tさんもその一人でした。

、実はそれ、誤った認識が広まっていることが原因です／

シロアリ駆除は、「シロアリの被害が出てから行うもの」ではなく、本来は予防として行うべきもの。

その予防に使われる薬剤の効果は、おおよそ5年間しか持続しません。

つまり、効果が切れた家は、シロアリの標的になるリスクがあるのです。

予防の重要性は、防犯対策や地震対策と似ています。

もっと身近な例でいえば、「歯磨き」が近いかもしれません。

歯磨きを怠ると、虫歯になります。そして、虫歯が進行すれば歯を失うことに——

その時、いくら歯医者に通っても、失った歯は元には戻りませんし、

断続的に治療のため何年も通い続けることにもなります。

つまり、「何も起きていないうちに備える」ことが、予防です。

シロアリ駆除も同じ。家を守るためには、“何も起きていない時”こそが大切なのです。

Tさんはそれを知りませんでした。

予防とは、「何かが起こる前に備えること」

あたり前のようで、改めて説明するほどのことでもないかもしれません。

ですが、「シロアリ駆除は“予防”である」ということを、

実は多くの方が知らないと同ったので、ここで少しお話ししておきます。

シロアリ対策に使われる薬剤の効果は約5年です。

予防処理を定期的に行わず、万が一シロアリが家に侵入してしまった場合——

残念ながら「治療」という方法は存在しません。

できることは、シロアリの駆除薬を散布するだけ。

しかも、すでにシロアリに食い荒らされた木材は元に戻せません。

スカスカになった柱や土台では、家そのものの強度が大きく損なわれます。

すると、建物の劣化は一気に進み、地震や台風といった自然災害にも弱い家になってしまうのです。

ですから、シロアリ薬剤を使用した家に住む場合は、5年ごとに薬剤を再び散布する費用と手間が必要になります。つまり、「5年に一度、薬剤を家に撒き続けなければならない家」ということ。

30年保証に、

途中でお金がかかることを知らなかったOさん

「正直なところ、外壁ってそんなに早く傷むなんて思ってなかったんです」

実際は、セメントの上に薄く塗料が塗ってあるだけだから、意外と外壁の劣化は、早いんですね。

新築のときはピカピカでも、10年ちよつと経つと「あれ？色あせてきた？」なんて気になり始めて…。

調べてみたら、塗り替えの目安は12～13年くらい。

その後は5～7年ごとに塗り直さないと、外壁の傷みがどんどん進んでしまう。

うちは「30年保証の外壁だから大丈夫」って言われて安心してたんですけど、

いざ保証の話になったときに、「定期的に塗り替えてないと保証対象外なんですよ」って言われ、ちょっとショックでした。

もし塗り替えせずに放っておいたら、保証がなくなるだけじゃなくて、

外壁全体を直すことになって、その修繕費がすごく高額になります。

「家を建てるときって、どうしても室内のことばかり気にしちゃうけど、

外壁もちゃんと考えておかないと後々大変だなんて、今になってすごく実感してます。」

10年が過ぎ「エアコンの買い換え」で焦っていたKさん

焦っていたのは、夏が暑いから？ではなくて、たぶんそれ以外の理由です。

エアコンのこと。

最初は「まあ必要だね」と思ってつけたけど、4～5台も設置しないと家の中が快適にならないって、正直ちよつと大変。

でも問題はそれだけじゃないんです。

「エアコンって、だいたい10年くらいで買い替え時がくるじゃないですか！」

4～5台まとめて買い換えるタイミングがやってきて、その費用が160万～200万円くらいかかる…

これはかなり大きな出費です。

さらに、夏も冬も全部のエアコンを稼働させないと快適にならないとなると、当然、電気代もガンガン上がっていくわけで…。

「家の中が暑い・寒い」というのは、体のストレスだけでなく、家計のストレスにもなってるんだなって、改めて感じます。

“本音”はこれです。

「そんなの、建てる前に教えてほしかった…！」

家を建てる時、「これから先に、どんなお金がかかるか」って、誰も教えてくれません。

教えてくれるのは「自社の家のいいところ」だけです。

住み始めてみると、いろんな“**見えない出費**”がじわじわとのしかかってくるんです。

例えば――

シロアリ駆除。5年に1回で、だいたい25～30万円。

外壁の塗り替えは1回で約300万円～400万円。

エアコンの買い替えは10年に1度、4～5台まとめて160～200万円。

さらに、年々上がっていく電気代（光熱費）…。

これらをざっと計算してみるだけでも、35年ともなればかなり大きな金額が必要になることがわかります。

「えっ…家って、建てたあともこんなにお金がかかるの？」

って、思わず言葉が出てきそうになりました。

——大事なものは——

出費を、事前に知っておくこと。

そして、それらを“回避する方法がある”ってことを知っておくことなんです。

知らずに家を建ててしまうと、あとからお金に追われて、暮らしがどんどん苦しくなるかもしれない。

しかし、ちゃんとした知識と選択肢を持って家づくりをすれば、それを避けることも可能なんです。

「じゃあ、その方法って何？」

「どうすれば無駄なお金をかけずに、賢く家を手に入れられるの？」

その答えを、これからお伝えしていきます。

家を“建てる前に”知っておいてほしい、大切な話です。



つまり「ちゃんとした家」とは？

「そんな家、本当にあるんですか？」

最初に話を聞いたとき、正直そう思いました。

- ・ シロアリ駆除の薬を撒かなくていい家
- ・ 外壁の塗り替えがいらぬ家(30年塗り替えいらぬ)
- ・ エアコン1台で家中が快適な家
- ・ 光熱費がほとんどかからない家
- ・ 冬場室内が乾燥しない、子供が風邪をひきにくい…等

そんな“夢みたいな話”、今まで聞いたこともなかったし、周りでも見たことがない。

だから最初は、「それって一部の特殊な家じゃないの？」って、どこか疑っていました。

でも話を聞いていくうちに、少しずつ分かってきたんです。

「ちゃんとした家」って、そもそも体験する場が少ないだけだって。

ここでひとつ大事なことをお伝えしておきたいんです。

今回の話は、よくある営業トークではありません。

「他社と比べてうちはこんなにすごいんです！」とか「この性能、どうですか！すごいでしょ？」

なんて、“売るための話”ではありません。

これは、実際に「ちゃんとした家」に住んでいる人たちのリアルな声です。

エアコン1台でも夏すずしく、冬あたたかい。光熱費の心配がいらぬ。

外壁やシロアリの心配もないから、メンテナンス費用もずっと抑えられる。

そんな家に実際に住んでみて、「本当だった…」という声がたくさんあります。

つまりこれは、

私たちが、本来あたりまえに手にしていいはずの、“健康で文化的な暮らし”の話なんです。

だからこそ今回、

「そんな家、あるわけない」と思っていたあなたに向けて、

その方法や手順を

しっかりとお伝えしていきたいと思っています。

“健康で文化的な暮らし”を望む方へ



福島市 笹谷 S 様

世界の情勢や国の政策ひとつで、電気代も灯油代も上がる。
この先、光熱費が家計を圧迫するのは目に見えてる。
暑くてもエアコンを我慢しなきゃいけないとか、
冬に厚い靴下を重ね履きして寒さに耐える生活なんて…
そんな暮らしを強いられるのは、もう“運まかせ”と変わらない

家を手に入れたあとに、そんな不安定な暮らしが待っているとしたら…

これは、S 様がこれまでの生活や経験から抱いていた、正直な気持ちでした。

最初は、正直…戸惑ったそうです。

他の家とあまりにも違いすぎて、考えと気持ちが追いつかなかった。

体験会で、「え？エアコン 1 台で？ 本当に？ なんで？」

体験会で、「こんな快適さ、今まで住んだどの家でも感じたことがない…」

驚きと疑いと興味が、一度に押し寄せてきたそうです。

体験会に何度か足を運ぶうちに、少しずつ、その家の快適さや、性能の意味、仕組みを理解していった S 様。しだいにその考え方にも変化が現れました。

あるとき、ふと S 様が口にした言葉があります。

「まあ…たとえ他より初期費用が高かったとしても、
この家なら、将来の出費を心配しなくていい。
だったら住宅ローンの計画も、
生活もむしろ立てやすいかもしれないですね」

この一言には、暮らしへの安心感と未来への手ごたえが詰まっていました。

S 様が感じたこと、それは決して特別なことではありません。

「ちゃんとした家」に出会い、暮らして初めて気づく、

家そのものが、家族の安心と自由を守る存在になるということ。

そのように思い始めたいです。

老後も安心して暮らせる？

正直、家を建てるときに、「老後のこと」なんて、ピンとこなかったんです。

だって、まだまだ先の話。

仕事もしてるし、子どもだってまだ手がかかる。

そんな未来のことまで、考える余裕なんて、なかなかありません。

でも、ふとしたときに思ったんです、「年金暮らしになったら…どうなるんだろう？」

私たちの世代、もらえるはずの年金が、将来どうなってるかなんてわかりません。

退職後、限られた収入の中で生活していく。そのとき、電気代が今よりずっと上がったら？

貯金を削りながら、しかもエアコンを控える暮らし？

そんな「我慢する暮らし」をずっと続けるなんて、考えただけで不安になります。

そしてもう一つ、気になるのが…

****この家を「将来、子どもに渡せるのか？」****ということ。

子どもが大きくなったとき、「この家に住む」っていう選択をしてくれるかは、分かりません。

もしかしたら、自分たちで新しい家を建て、親と一緒に住むことを望まないかもしれない。

そうすると、「この家を残しておきたい」という気持ちが、ただの親のエゴになってしまうんじゃないかって、不安になるんです。

さらに、子どもが複数いれば…

一人には「家」を。

他の子どもには「現金」を。

そうやって平等に分けたつもりでも、****「なんか不公平だな」****って。

だからこそ、残す家が****ちゃんと価値のある「いい家」****であることが大切なんだと思うんです。

時間が経っても、性能や価値が落ちない、子どもが受け取ったときに、「ありがとう」と思える家。

それが、「親として残せるもの」の一つじゃないでしょうか。

「今の暮らし」と「将来の安心」をつなぐ。

そんな場合

家がそれなりの価値の家「ちゃんとした家」と、そうでない家場合では大きな違いが出る事があります。



「家」将来の価格(価値)

家を建てる時、「この家を将来、売ることになるかもしれない」なんて、あまり想像しないかもしれません。

しかし、人生は何があるかわかりません。

転職、介護、老後の住み替え、相続…ある日突然、「この家を手放すとき」が来るかもしれません。

はっきりと差が出る「家の価値」

同じエリア、同じ広さでも——

◎「ちゃんとした家」は、土地代とは別に、建物で 3,000 万円の価値がつく。

一方で——

✕ そうでない家は、**「解体費がかかるので土地代から引かせてください」**なんて。

つまり、「売れない」「価値がつかない」家になってしまうんです。

これは誰かの話でも無ければ、極端な話でもありません。

今、各地で問題になっている空き家の多くは、まさに「価値がつかない家」。

そしてそれが、将来の自分や子どもたちにも起こりうる現実なんです。

なぜ、こんなに差が出るのか？

その理由のひとつが、**「省エネ性能」**です。

2050 年にはカーボンニュートラルが目指され、社会は今以上に「省エネ」を求めるようになります。

2050 年以降の基準に合っていない家は、家族も他の人も、誰も住みたがらない、欲しがらない。

そうなれば、価値は一気に下がってしまいます。

子どもに残すにしても、売るにしても、「ちゃんとした家」かどうかで その時が変わる。

それが、今の家づくりに求められている、家をてにいれるあなたの新しい視点なのかもしれません。

家を選択するためのパラダイムシフトが必要なのかもしれません。

何を選択するかで「未来の生活が変わる」のなら

何を選択しますか？

「何を食べたかで、今の体ができている」であれば…

——これはもう、なんとなくお判りの事だとおもいますが——

実際に、日経 BP メディカル研究所の調査によると、 医師 2561 人のうち**約 79%が『日々の食事に気をつけている』**と答えています。

医師は、「毎日の積み重ねが健康をつくる」と分かっているんです。

※ 家についてはどうでしょう？

私たちは、気づかないうちにどんな家に住んでいるかで、「精神と健康」に影響を受けています。

実際に「ちゃんとした家」に住んでいる S 様（医師）も、こう話しています。



「快適って、難しいんです。

快適なときって、何も感じないから。

不快なときはすぐわかるんですよ。暑い、寒い、不便…って。

この家ではそういう不快を感じたことがない。

だから、おそらく『快適』なんだと思います。」

——これは、【#95 心臓血管の名医が語る快適な家】のインタビューからの言葉です。

気になる方はご覧ください。（A.C.Regalie YouTube チャンネル）

“ちゃんとした家”とは、

ただ性能が高いとか、省エネだとか、そういうことだけじゃありません。

住む人の心と体を、そっと支えてくれる家。

食事と同じように、

「どんな家に住むか」が、家族の健康と心の安定をつくる基盤になります。

どれだけ支払うか？ではなく、どこに支払うか？という問題

「ちゃんとした家」とそうでない家、結局どっちが高いの？性能の高い家って、やっぱり高いんですよね？」

と聞かれることがあります。

ここまで読んでくれたあなたは既におわかりだと思います。

家にかかるお金って、建てた瞬間だけじゃ終わらないです。

ちなみに…家を建ててからの暮らしには、こんな出費があります。

住宅ローン、光熱費、医療費、食費、水道代、維持修繕費、通信費、被服費、教育費
娯楽費 などなど…

これら全部をひっくるめて、私たちは「生涯コスト」と呼びます。

実は、「ちゃんとした家」はこの生涯コストが安くなる力を持っているんです。

たとえば、光熱費。

今のようにエネルギー価格が高い時代では、省エネ性能の差は 60%以上の効率差が出ることもあり、
1 か月にすれば数万円、年間だと数十万円 35 年だと数百万単位で変わってきます。

そして、意外と見落とされがちなのが「メンテナンスコスト」。

▶ シロアリ駆除の薬品散布

効果は約 5 年。住宅ローンが 35 年なら、7 回も散布が必要。

1 回あたり 20～30 万円かかるので、合計 140～210 万円。都度の見積もり依頼と価格交渉
軽自動車を買ってしまう金額です。

▶ 外壁の塗装(セメントに塗装した外壁)

一般的な外壁材だと、新築から 10 年後に塗装、その後も 5 年ごとに再塗装。

1 回約 300～400 万円として、35 年間でなんと 6 回 = 2,400 万円…！

都度の見積もり依頼と価格交渉

こういった費用もさることながら、

それよりも重大な事といえば…

エアコンの寿命・買い替え台数の差、家電量販店へ来店する回数や価格交渉

夏の暑さによる熱中症・冬の寒さのヒートショック

薬品・温度差・乾燥などが原因で病院通い

シロアリ駆除の薬剤による健康影響

高血圧や老後の不要な医療費、通院の面倒など…

こうした細かい積み重ねが、じわじわと家計とあなたの自由を圧迫します。

それでもまだ、「ちゃんとした家」は高く見えますか？

家を手に入れた後の暮らしを見据えたとき、“ちゃんとした家”は決して「贅沢品」なんかじゃありません。

むしろ、家族とあなたを守るための堅実な選択なんです。

他メーカーからの推薦？

契約直前、S 様の“気になるひと押し”

「ここで契約して本当にいいのか？」家づくりに真剣だからこそ、
S 様の中に湧き上がってきた一つの疑問。

たまたま時間が空いたので——

S 様は、かなり洋風なデザインで知られる有名ハウスメーカーを訪ねました。
平日だったこともあり、どうやらかなり“デキる営業マン”が担当してくれたそうです。

しばらくモデルハウスを見て回った後、S 様はふと、こんな質問を投げかけました。

「ところで、福島市の A.C.Regalie って会社、ご存じですか？あの会社って、どうなのでしょう？」

営業マンは一瞬の沈黙のあと、意外なほどあっさりこう答えたのです。

「……ああ、よく知ってますよ。家づくりに関しては、こだわったいい家をつくってますね。」
(……え？ライバル会社なのに、そんなふうに言うの？)

と心の中でそうつぶやいた S 様は、思わず聞き返しました。

「そうはいつでも、なにか気になる点とか、あるでしょ？」

ところが——

その瞬間、営業マンは沈黙したまま、口を開くことができなかったのです。

“販売のプロを沈黙させた家づくり”

その様子を、S 様は後に

A.C.Regalie YouTube チャンネル動画

『有名ハウスメーカーの営業マンが“絶句”していました。福島をよく知る工務店がつくる家』
の中で語っています。気になる方はご覧ください。(A.C.Regalie YouTube チャンネル)

家づくり後、豊かな生活を望むには

あなたは、どちらの未来を選びますか？

家を建てる——

それは「住む場所をつくる」だけでなく、将来の安心や、家族の暮らし方そのものを選ぶことでもあります。

今、生活費はどんどん上がっています。電気代、ガス代、食費に医療費……

気づけば、何もかもが高くなっている。

少し前まで 1 リットル 100 円だったガソリンも、今は 170 円～180 円。

しかも、値下がる気配はまったくありません。

だからこそ、いま本当に必要なのは——

世の中に振り回されない暮らしではないでしょうか。

その鍵になるのが、「ちゃんとした家」であること。

でも、ちょっと待ってください。

“ちゃんとした家”って、どこに頼んでも同じだと思っていませんか？

実は、それが大きな誤解なんです、「ちゃんとした家」が建てられるかどうかは、圧倒的な技術力と、家づくりの“練度”の差。A.C.Regalie は、「2050 年カーボンニュートラル宣言」そう叫ばれる 10 年以上前から、“ちゃんとした家”を当たり前につくってきました。

だからこそ、今の時代にも、これから先の時代にも通用する——

人が健康に、快適に文化的に暮らせる家を、“ちゃんと”建てられるんです。

ちなみに、ドイツでは「室温 19℃以下は、基本的人権を損なう」とまで言われています。

あなたの住む家は、冬の朝 19℃を下回りませんか？

これから何十年先も、世の中がどう変わっても、心配せずに暮らせる家。

その答えが、「ちゃんとした家」にあります。

一度、見てみませんか？あなたと、あなたの家族のこれからのために

A.C.Regalie は「ちゃんとした家」しか作りません

えっ、35 年で 4,500 万円も違うの？

家づくりって、建てて終わりじゃないんです、むしろ、住み始めてからがスタート。

電気代、光熱費、エアコンの買い替え、メンテナンス費用…それらすべてを「ちゃんとした家」で建てた家と、そうでない家ではなんと、35 年間で約 4,500 万円もの差が出ることもあるんです。

「いやいや、ちょっと大げさじゃない？」 「そんなの信じられない」

そう思ったあなたへ。

ご安心ください。

私たちはすべて数字で説明できるようにしています。1 軒 1 軒、その家の性能や設計、使用する設備ごとに、きちんと光熱費や維持費を計算してお伝えしています。

9 月の体験会では、実際の家をもとに、その“費用差の理由”と“内訳”をまるごと公開します。

これまでに体験会でご覧いただいた方は、

皆さん一様に「…そういうことだったのか」と、納得の息をもらします。

「知らなかった」では、済まされない未来があります。

「ちゃんとした家」と、そうでない家。違いは、今すぐには見えにくいかもしれませんが。

でも、10 年後、20 年後には“暮らしやすさ”も“お金の差”も、はっきり見えてきます。

私たちは、あなたに——

“”ちゃんとした家””とは、どんなものなのか？正直に、わかりやすくお伝えします。

そして、あなたにも、その家を手に入れていただけるよう、しっかりサポートすることを、お約束します。

ぜひ、体験会へお越しください。

あなたの未来を変える「発見」が、きっとあります。

今だけのチャンスです！

＼LINE 登録後、体験会へ参加すると／
ご契約時に、あの**「乾太くん」**をプレゼント！

毎日使うものだからこそ、

「本当についてくるの？」と驚く方も多いんです。

もし、2年以内に家を建てたいとお考えなら、まずは一度、体験会へ足を運んでみませんか？

将来の光熱費や、家の維持費、目には見えにくい“暮らしやすさの差”まで――

きっと、これからの家づくりがガラッと変わります。

▼体験会のお申し込みはこちら

(※定員があるため、お早めにご予約ください)

【体験会の参加方法】

スムーズにご案内できるよう、日程決定後すぐにご連絡をいたします。公式LINEにご登録ください

9月の開催 完全予約制
【構造体験会】

公式LINEから
友達登録してください



▲今すぐ!タップ(クリック)で友達登録を▲

そのつくりをぜひ、体験会で体感してください。
このクオリティを、あなたの“あたりまえ”に変える第一歩



骨太 100 年住宅・自然素材の家
株式会社 **A.C. Regalie**

〒960-8104 福島市豊田町 2-10

時間／9：00～18：00 定休日／毎週水曜日
24時間対応（時間外は留守番電話対応です）

▼▼▼関連おすすめ記事！▼▼▼

・[A.C.RegalieYouTube チャンネル](#)

[「教えて社長シリーズ」・「ちゃんとした家」を手に入れた皆さんの声 など](#)

タップしてもジャンプしない場合は、【公式】[A.C.RegalieYouTube チャンネル](#) にて検索ください。

・【公式】書籍。[結構意外！福島の家](#)

・【公式】書籍。[断熱等級 7×エアコン一台、国内でも希少な住宅です。](#)

ブルーの文字をタップ(クリック)するとジャンプします。

著者



(株)A.C.Regalie代表取締役
中澤達浩

SKILLS

主な資格等

- 一級建築士
 - 専攻建築士(住宅専門設計士)
 - 住宅省エネルギー設計者
 - 住宅省エネルギー施工技術者
 - 住宅品質確保法設計士
 - 整理収納アドバイザー2級
 - 住宅収納スペシャリスト
 - 一級建築士事務所所長
 - 気密測定技能士
 - 株式会社A.C.Regalie代表取締役
- その他省略

EDUCATION

1967年3月15日生まれ
1989年
東海大学工学部建築学科卒業
1992年
一級建築士合格取得
2001年
誠栄ハウス設立
2006年
専攻建築士取得
2008年
損害保険員試験合格
2009年
住宅品質確保の促進等に関する法律第13条講習課程修了
2012年
日本原子力学会 会員
2014年
株式会社A.C.Regalie設立
キューワン住宅を発表
その他省略

LANGUAGE

Japanese

著者の経歴紹介

1967年3月生まれ（魚座）。

大学卒業後、大手ゼネコンの設計部に勤務。実務経験を積んだのち、1993年（平成5年）に同社を退社し、設計の枠を超えて「職人の世界」へと飛び込む。

現場での3年間の修行を経て、今度は全国でも名の知れた名匠のもとで現場監督としてさらに3年間の修行を重ね、師匠から「免許皆伝」を受ける。

すでにその頃には顧客に恵まれ、人気現場監督として多くの現場を任される存在となっていた。

しかし、家族の誕生を機に大きな転機が訪れる。1999年9月、子育てを見据えて福島へと転居。東京で築いた実績やポジションをすべてリセットし、「福島で“ちゃんとした家”をつくる」ことを人生の新たな目標に定める。

2001年、福島にて誠栄ハウスを共同出資で設立。同年、自らの設計思想を形にすべく「ビルド・ファクトリー設計事務所」も立ち上げる。

2014年11月には株式会社A.C.REGALIEを設立。これまでの経験と実績を結集し、ハウスメーカーとしての地位を確立。同年、「キューワン住宅」を発表し、福島県内外で大きな注目を集める。

2017年には、日本最大の断熱性能向上団体「新住協（新木造住宅技術研究協議会）」に入会し、断熱の専門技術をさらに深化。

2021年には、HEAT20（20年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会）に参加し、2050年を見据えた住宅性能の追求にも取り組む。

そして2025年、Q1.0住宅の実践的指導者として認定される「Q1.0マスター会員」に登録。

より高い性能と快適性を両立する住宅づくりを推進している。

本書の著作権について

本書の著作権は著者（または著作権者）に帰属します。

本書の一部または全部を、著作権者の許可なく複製・転載・翻訳・転送・販売・配布することを禁じます。また、本書の内容を無断でインターネット上に公開することも固くお断りいたします。引用・紹介などを希望される場合は、事前に著作権者または発行元へご連絡ください。